学校番号	1010

令和二年度　国語科

教科	国語科	科目	国語総合	単位数	３単位	年次	１年次
使用教科書	「標準　国語総合」（第一学習社）						
副教材等	「ダブルクリア」（尚文出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・１年生では社会人に必要となる基礎的な国語の力を身につけることを心がけましょう。
・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身につけてください。
・古典の時間では、有名な古文と漢文の作品に親しむとともに、正しく心情等を理解するために語彙力や文法の知識をしっかりと身につけてください。
・漢字の読み書きを学び、日本漢字能力検定の各級取得を目指す力の向上を目標とします。授業内で漢字の小テストを行います。

２　学習の到達目標

・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
・思考力を伸ばし、豊かな感性を培い、言語感覚を磨く。
・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育む。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴や決まり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。
評価方法	・行動の観察 ・記述の点検（プリント・ノート等）	・行動の観察（発表等） ・記述の点検（班活動での課題・プリント・ノート等）	・記述の点検及び分析（プリント・原稿用紙）	・行動の観察 ・記述の点検（プリント・定期考査）	・行動の観察 ・定期考査 ・小テスト
	上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1	世界をひらくⅠ	随想「スイッチをOFFにすることから始める」	○			○	○	a 文章の構成、展開に注目して、筆者の主張を把握しようとしている。 d 文章の構成、展開に注目して、筆者の主張を把握できる。 e 漢字の読み書きや言葉の意味を適切に理解することができる。	abd行動の観察 記述(ノート・プリント)の点検 e定期考査、小テスト
	視野を広げるⅠ	評論「水の東西」	○	○		○	○	a 筆者特有の表現を読み取り、評論における表現（対比・具体と抽象等）を理解し、自分の考えを深めようとしている。 b 言語活動を行い、自分の意見を適切に相手に伝え、相手の意見を尊重し聞くことができる。 d 筆者特有の表現を読み取り、評論における表現（対比・具体と抽象等）を理解し、自分の考えを深めることができる。 e 漢字の読み書きや言葉の意味を適切に理解している。	
	古文に親しむ	古文入門「児のそら寝」(『宇治拾遺物語』)	○			○	○	a 伝統的な言語文化に親しみ、作品の内容を理解しようとしている。 d 伝統的な言語文化に親しみ、作品の内容を理解することができる。 e 古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	

2	心を見つめるⅠ	小説「羅生門」	○			○	○	a 人物・情景・心情を読み取り、作品に及ぼす効果に気付こうとしている。 d 作品の背景や時代性を理解し、作品の主題を思考することができる。 e 言葉の意味や表現法を理解することができる。	ad行動の観察 記述（ノート・プリント）の点検 e定期考査、小テスト
	古文に親しむ	古文入門「三文にて歯二つ」（『沙石集』）	○			○	○	a 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。 d 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。 e 古文を読むことに役立つ、文語の決まりを身につけている。	
3	世界をひらくⅡ	随想「世界は謎に満ちている」	○			○	○	a 筆者の意見を適切に読み取り、自分の考えを深めようとしている。 d 筆者の意見を適切に読み取り、自分の考えを深めることができる。 e 漢字の読み書きや言葉の意味を適切に理解することができる。	a 行動の観察 bグループワーク・ペアワーク・発表時の行動の観察 d記述（ノート・ﾌﾟﾘﾝﾄ等）の点検 e定期考査、小テスト
	イメージを味わう	詩「道程」 「I was born」 「二十億光年の孤独」	○	○		○	○	a 人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の深さに気づこうとしている。 詩に対する疑問や気づいた点について話し、相手の意見を聞くことができる。 d 人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の深さに気づいている。 e 文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	

	物語のはじまり	古文の物語「竹取物語」	○			○	○	a 現代と異なる古典の恋愛・結婚観等の時代性を理解し、物語の内容を読み深めようとしている。 d 現代と異なる古典の恋愛・結婚観等の時代性を理解し、物語の内容を読み深めることができる。 e 伝統的な言語文化に親しみ、基本的な文法、言葉の意味を理解することができる。	
4	心をみつめるⅡ	小説「とんかつ」	○		○	○	○	a 人物・情景・心情を読み取り、作品に及ぼす効果に気付こうとしている。 c 文章の表現技法や文体に注意し、作品の要約や感想を書くことができる。 d 作品の背景や時代性を理解し、作品の主題を思考することができる。 e 言葉の意味や表現法を理解することができる。	a行動の観察 cd 記述（ノート・プリント等）の点検 e 定期考査、小テスト
	視野を広げるⅡ	評論「日本語万華鏡」	○			○	○	a 文章の構成や展開を確かめ、文章の内容にふさわしい文体や語句、表現の技法が用いられているかどうかを考察しようとしている。 d 文章の構成や展開を確かめ、文章の内容にふさわしい文体や語句、表現の技法が用いられているかどうかを考察している。 e 漢字の読み書きや言葉の意味を適切に理解している。	
	物語のはじまりⅡ	古文の物語「伊勢物語」	○			○	○	a 和歌の修辞技法を理解し、物語中の和歌の効果を読み取ろうとしている。 d 和歌の修辞技法を理解し、物語中の和歌の効果を読み取ることができる。 e 古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	

5	平和を考える	随想「黄色い花束」	○		○	○	○	a 筆者の体験談をもとに平和について考えを深めようとしている。 c 平和についての思いや考えを文体に適した表現の仕方で書いている。 d 筆者の体験談をもとに平和について考えを深めることができる。 e 漢字の読み書きや言葉の意味を適切に理解している。	a行動の観察 cd 記述（ノート・プリント等）の点検 e 定期考査、小テスト
	漢文に親しむ	漢文入門 故事成語	○			○	○	a 伝統的な言語文化に親しみ、わが国の言語文化を培ってきた言葉の由来や背景を理解し、豊かな考えやものの見方を養おうとしている。 d 伝統的な言語文化に親しみ、わが国の言語文化を培ってきた言葉の由来や背景を理解し、豊かな考えやものの見方を養うことができる。 e 漢文の基本構造・用法を理解することができる。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。